

業務のご報告



これからも、ずっといっしょに、このまちで

第101期

業務のご報告

令和4年4月1日～令和5年3月31日

 長野信用金庫

経営理念

健全経営に徹し、
豊かな地域社会づくりに貢献する

経営方針

お客様を大切にし、地域の発展に奉仕する
健全で調和のとれた経営を実践する
使命感をもち、活力ある職場をつくる

当金庫のビジョン

“地域愛”を原動力に
この先の成長も
みなさまとともに



これからも、
ずっといっしょに、
このまちで



長野信用金庫は令和5年9月1日に創立100周年を迎えます

当金庫の概要

創 立 ◆ 大正12年9月1日
本 店 ◆ 長野市居町133番地1
店舗数 ◆ 38店
常勤役職員数 ◆ 549名
会員数 ◆ 60,491名
出資金 ◆ 23億83百万円
預 金 ◆ 8,717億6百万円
貸出金 ◆ 3,587億55百万円
(令和5年3月31日現在)

目 次

当金庫の概要	1
ごあいさつ	2
第101期貸借対照表 ..	4
第101期損益計算書 ..	6
第101期剰余金処分 ..	7
経営指標	8
預金業務関係	9
貸出金業務関係	10
その他	11
一年のあゆみ	12
総代氏名	13

会員の皆さまにおかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は当金庫の事業活動につきまして格別なるお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。
とございます。

ここに第101期の事業の概況をご報告申し上げます。

《金融経済環境》

令和4年度は、1年延期となった善光寺御開帳が開催されたことから多くの参拝者が長野県を訪れ、大きな経済効果がもたらされました。新型コロナウイルスの感染対策も経済活動とのバランスを考慮した対応へと変化し、ようやく人の流れも「かつての日常」を取り戻しつつあります。

一方で、不安定な世界情勢により資材やエネルギー価格が高騰し、加えてインフレ抑制に向けた各国の金融政策転換に伴い円安が進行したため、国内の消費者物価上昇率は数十年ぶりの大幅な伸びを記録しました。また、年度末にはアメリカの地銀の経営破綻に端を発し、海外市場における金融システム不安が浮上しました。

国内においては日本銀行の新体制が発表され、10年間続いてきた異次元金融緩和の修正観測が高まり、金融政策正常化への動きが注目されています。さらに、中小企業における価格転嫁や賃上げの動向および海外経済見通しについては不透明感があり、金融経済環境の先行きを予測するには難しい局面が続いています。

《事業概況》

当金庫では「健全経営に徹し、豊かな地域社会づくりに貢献する」という経営理念の下、さまざまな事業活動を展開してまいりました。

事業者向けの取組みとしましては、長野県内外の企業と商談ができるビジネスマッチングサイト「しんぎん商談ステーション」を開始しました。また、コロナ禍で中止していた「長野しんぎんビジネスフェア」を3年ぶりにビッグハットで開催し、当日は300件以上の商談が行われました。さらに、地元を応援する新たな取組みとして、事業者さまと次世代を担う若者をつなぐ「高校生向け金融リテラシー講座」を4部構成で開催しました。

個人向けの取組みとしましては、当金庫創立100周年を記念した特別金利の商品で、より多くのお客さまに感謝の気持ちを表すとともにSDGsにも貢献できる「未来の森林(もり)応援定期預金」の取扱いを開始しました。

《業績》

第101期の業績は以下のとおりです。

まず、預金積金は、個人の流動性預金が堅調に推移したことから、期中41億8百万円増加して期末残高は8,717億6百万円となりました。

貸出金は、住宅資金を中心とした個人融資が堅調に推移した結果、期中48億35百万円増加して期末残高は3,587億55百万円となりました。

有価証券は、期中51億42百万円減少して期末残高は4,797億円となりました。

損益状況について、経常収益は、貸出金利回りの低下により貸出金利息は減少したものの、有価証券運用の多様化により有価証券利息配当金が増加したことなどから、前期比8億97百万円増加して122億90百万円となりました。

経常費用は、与信関連費用は増加したものの、経費が減少したほかその他業務費用の減少などにより、前期比5百万円減少して88億45百万円となりました。

この結果、経常利益は前期比9億2百万円増加して34億44百万円となり、当期純利益は前期比4億18百万円増加して22億2百万円となりました。

《内部管理基本方針》

当金庫は、信用金庫法第36条第5項第5号並びに同法施行規則第23条に基づき、業務の健全性・適切性を確保するための態勢整備に係る基本方針として「内部管理基本方針」を理事会において決議し、以下の項目について定めています。当金庫及び当金庫の子法人等から成る集団（以下、「当金庫グループ」という。）は、本方針に則り、内部管理体制の整備を進めるとともにその実効性確保に努めるものとしています。

1. 当金庫グループの役職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
2. 当金庫の理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
3. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
4. 当金庫の理事及び当金庫の子法人等の取締役等の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
5. 当金庫グループにおける業務の適正を確保するための体制
6. 監事とその職務を補助すべき職員を置くことを求めた場合における当該職員に関する事項
7. 監事の職務を補助すべき職員の理事からの独立性に関する事項
8. 当金庫グループの役職員が監事に報告をするための体制その他の監事への報告に関する体制
9. その他監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制

《事業の展望と課題》

当金庫は、大正12年9月に「有限責任長野市庶民信用組合」として業務を開始して以来、いよいよ本年9月1日に創立100周年を迎える運びとなりました。これもひとえに、100年間にわたり当金庫を育んでくださった地域の皆さまの温かいご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。

このたび当金庫では、新たな5ヵ年経営計画「ネクスト5(GO)」を策定しました。その中では、『“地域愛”を原動力に この先の成長も みなさまとともに』をビジョンとして掲げています。新たな経営計画の遂行にあたり、今一度、信用金庫の原点である「相互扶助の精神」を役職員一同が胸に刻み、お客さまと地域に最も近い金融機関として地域経済発展のお役に立てるよう努めていく所存です。

今後も適切なリスク管理とコンプライアンスの実践による経営の健全性、安全性の確保に努め、地域金融機関としての役割を精一杯果たしてまいりますので、一層のご支援お引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

令和5年6月

理事長 **市川公一**

第101期末貸借対照表

資産の部

令和5年3月31日現在（単位：百万円）

科 目	金 額
現金	6,412
預け金	120,400
買入金銭債権	107
有価証券	479,700
国債	163,040
地方債	44,678
社債	110,892
株式	31,083
その他の証券	130,005
貸出金	358,755
割引手形	2,719
手形貸付	22,941
証書貸付	310,623
当座貸越	22,470
その他資産	5,177
未決済為替貸	99
信金中金出資金	4,052
未収収益	885
その他の資産	139
有形固定資産	6,845
建物	2,428
土地	3,958
リース資産	1
建設仮勘定	20
その他の有形固定資産	436
無形固定資産	373
ソフトウェア	60
その他の無形固定資産	313
前払年金費用	365
債務保証見返	780
貸倒引当金	△5,020
（うち個別貸倒引当金）	（△4,524）
資 産 の 部 合 計	973,896

負債及び純資産の部

令和5年3月31日現在 (単位: 百万円)

科 目	金 額
預金積金	871,706
当座預金	28,070
普通預金	351,070
貯蓄預金	4,274
通知預金	55
定期預金	452,339
定期積金	32,255
その他の預金	3,640
その他負債	1,536
未決済為替借	179
未払費用	163
給付補填備金	8
未払法人税等	532
前受収益	142
払戻未済金	32
払戻未済持分	0
職員預り金	13
リース債務	1
資産除去債務	293
その他の負債	168
賞与引当金	434
役員賞与引当金	12
退職給付引当金	1,503
役員退職慰労引当金	87
睡眠預金払戻損失引当金	41
偶発損失引当金	357
繰延税金負債	3,806
債務保証	780
負債の部合計	880,266
出資金	2,383
普通出資金	2,383
利益剰余金	77,518
利益準備金	2,410
その他利益剰余金	75,108
特別積立金	72,647
(うち100周年事業費積立金)	50
当期末処分剰余金	2,461
処分未済持分	△ 0
会員勘定合計	79,901
その他有価証券評価差額金	13,728
評価・換算差額等合計	13,728
純 資 産 の 部 合 計	93,629
負債及び純資産の部合計	973,896

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第101期損益計算書

自令和4年4月1日 至令和5年3月31日 (単位:千円)

科 目	金 額
経常収益	12,290,305
資金運用収益	10,435,343
貸出金利息	4,220,206
預け金利息	109,077
有価証券利息配当金	6,009,500
その他の受入利息	96,559
役務取引等収益	950,986
受入為替手数料	348,496
その他の役務収益	602,490
その他業務収益	853,075
国債等債券売却益	775,373
その他の業務収益	77,701
その他経常収益	50,899
償却債権取立益	8,091
株式等売却益	42,284
その他の経常収益	522
経常費用	8,845,840
資金調達費用	129,697
預金利息	124,657
給付補填備金繰入額	4,970
その他の支払利息	69
役務取引等費用	712,370
支払為替手数料	95,206
その他の役務費用	617,163
その他業務費用	26,942
国債等債券売却損	23,396
その他の業務費用	3,546
経費	7,406,281
人件費	4,679,201
物件費	2,464,103
税金	262,976
その他経常費用	570,548
貸倒引当金繰入額	387,864
貸出金償却	46,940
株式等償却	36,428
その他の経常費用	99,314
経常利益	3,444,464
特別損失	362,308
固定資産処分損	2,943
減損損失	359,365
税引前当期純利益	3,082,156
法人税、住民税及び事業税	1,009,142
法人税等調整額	△ 129,169
法人税等合計	879,973
当期純利益	2,202,183
繰越金(当期首残高)	258,816
当期末処分剰余金	2,461,000

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

第101期剰余金処分

(令和4年度)(単位:円)

科 目	金 額
当期末処分剰余金	2,461,000,315
積立金取崩額	26,922,500
利益準備金限度超過取崩額	26,922,500
剰余金処分数額	2,247,595,659
普通出資に対する配当金	(年2%) 47,595,659
特別積立金	2,200,000,000
(うち100周年事業費積立金)	(10,000,000)
繰越金(当期末残高)	240,327,156

以上のとおりであります。

令和5年6月

長野信用金庫

理 事 長	市 川 公 一
専 務 理 事	黒 岩 博
常 務 理 事	目 黒 匡
常 務 理 事	岩 崎 邦 浩
常 務 理 事	荒 井 健 次
常 勤 理 事	宮 澤 幸 彦
常 勤 理 事	武 田 俊 一
常 勤 理 事	鈴 木 弘 一
理 事	廣 田 光 彦
理 事	松 本 清

以上監査の結果、その正確なることを認めます。

令和5年5月

常 勤 監 事	北 村 嘉 基
監 事	野 路 美 徳
監 事	栗 林 実

経営指標

主要な経営指標の推移

(単位：百万円)

		令和3年度	令和4年度
利益	経常収益	11,393	12,290
	経常利益	2,541	3,444
	当期純利益	1,783	2,202
残高	預金積金残高	867,597	871,706
	貸出金残高	353,920	358,755
	有価証券残高	484,842	479,700
高	純資産額	98,074	93,629
	総資産額	1,034,629	973,896

会員数及び出資金

(単位：金額＝百万円、会員数＝名)

		令和4年3月末	令和5年3月末
会員数	個人	53,599	52,453
	法人	8,017	8,038
	合計	61,616	60,491
出資金		2,410	2,383

ご案内：当金庫は、平成26年9月の法改正を踏まえ、長期間所在が不明となられている会員の方の除名に関する定款変更を平成28年6月に行いました。以下の①～③のすべてに該当する方は、総代会の決議により除名となることがございます。

- ①5年以上継続して当金庫の事業を利用していない方。
- ②当金庫の通知又は催告が5年以上継続して到達しなかった方。
- ③当金庫への届出住所等に所在していないことが確認できた方。

預貸率

(単位：％)

		令和3年度	令和4年度
預貸率	期末残高	40.79	41.15
	期中平残	41.10	40.47

総資産利益率

(単位：％)

	令和3年度	令和4年度
総資産経常利益率	0.25	0.35
総資産当期純利益率	0.18	0.22

(注) 総資産経常(当期純)利益率＝ $\frac{\text{経常(当期純)利益}}{\text{総資産平均残高}} \times 100$ ただし、総資産については債務保証見返勘定は含んでおりません。

この比率は資産規模に対する利益の比率をみる指標であり、一般的にROA(Return On Assetの略)と呼ばれております。

総資金利鞘

(単位：％)

	令和3年度	令和4年度
資金運用利回	1.06	1.09
資金調達原価率	0.85	0.85
総資金利鞘	0.21	0.24

(注) 1. 資金運用利回＝ $\frac{\text{資金運用収益}}{\text{資金運用勘定計平残}} \times 100$

2. 資金調達原価率＝ $\frac{\text{資金調達費用－金銭の信託運用見合費用＋経費}}{\text{資金調達勘定計平残}} \times 100$

3. 総資金利鞘＝資金運用利回－資金調達原価率

この比率は、運用資金全体の収益力をみる指標です。

業務純益・粗利益

(単位：千円)

	令和3年度	令和4年度
業務純益	3,113,816	3,975,512
業務粗利益	10,409,765	11,370,395
うち資金利益	9,958,086	10,305,646
うち役務取引等利益	242,615	238,616
うちその他業務利益	209,063	826,133
業務粗利益率(％)	1.09%	1.19%

(注) 業務粗利益率＝ $\frac{\text{業務粗利益}}{\text{資金運用勘定計平均残高}} \times 100$

単体自己資本比率（国内基準）

（単位：百万円）

	令和4年3月末	令和5年3月末
自己資本の額（A）－（B）（C）	77,175	79,611
コア資本に係る基礎項目の額（A）	78,227	80,350
コア資本に係る調整項目の額（B）	1,052	738
リスク・アセット等の額の合計額（D）＋（E）（F）	309,855	312,093
信用リスク・アセットの額の合計額（D）	289,291	291,404
オペレーショナル・リスク相当額を8％で除して得た額（E）	20,563	20,689
自己資本比率（国内基準）＝ $\frac{(C)}{(F)} \times 100$	24.90％	25.50％

（注）自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁告示第21号）」に基づき算出しております。

預金業務関係

預金科目別、会員・会員外別残高

（単位：残高＝百万円、構成比＝％）

	令和4年3月末		令和5年3月末	
	残高	構成比	残高	構成比
当座預金	27,361	3.1	28,070	3.2
普通預金	339,208	39.0	351,070	40.2
貯蓄預金	4,330	0.4	4,274	0.4
通知預金	2,447	0.2	55	0.0
定期預金	455,645	52.5	452,339	51.8
定期積金	34,081	3.9	32,255	3.7
その他の預金	4,523	0.5	3,640	0.4
合計	867,597	100.0	871,706	100.0
会員	332,893	38.3	337,116	38.6
会員外	534,704	61.6	534,589	61.3

（注）「その他の預金」は別段預金、納税準備預金、非居住者円預金の合計です。

預金者別預金残高

（単位：残高＝百万円、構成比＝％）

	令和4年3月末		令和5年3月末	
	残高	構成比	残高	構成比
個人	654,062	75.3	664,023	76.1
法人	213,535	24.6	207,683	23.8
一般法人	187,835	21.6	187,257	21.4
金融機関	2,459	0.2	92	0.0
公金	23,240	2.6	20,332	2.3
合計	867,597	100.0	871,706	100.0

貸出金科目別・会員・会員外別残高

(単位：残高=百万円、構成比=%)

	令和4年3月末		令和5年3月末	
	残 高	構成比	残 高	構成比
割 引 手 形	2,749	0.7	2,719	0.7
手 形 貸 付	21,979	6.2	22,941	6.3
証 書 貸 付	307,171	86.7	310,623	86.5
当 座 貸 越	22,020	6.2	22,470	6.2
合 計	353,920	100.0	358,755	100.0
会 員	280,819	79.3	284,768	79.3
会 員 外	73,100	20.6	73,986	20.6

貸出金業種別・用途別残高

(単位：残高=百万円、構成比=%)

		令和4年3月末		令和5年3月末	
		残 高	構成比	残 高	構成比
製 造 業		36,517	10.3	35,715	9.9
農 業 ・ 林 業		913	0.2	1,332	0.3
鉱業・採石業・砂利採取業		388	0.1	292	0.0
建 設 業		33,564	9.4	33,835	9.4
電気・ガス・熱供給・水道業		4,924	1.3	4,506	1.2
情 報 通 信 業		801	0.2	676	0.1
運 輸 業 ・ 郵 便 業		6,808	1.9	6,391	1.7
卸 売 業 ・ 小 売 業		32,547	9.1	32,567	9.0
金 融 業 ・ 保 険 業		10,523	2.9	12,430	3.4
不 動 産 業		29,632	8.3	29,967	8.3
物 品 賃 貸 業		1,503	0.4	1,320	0.3
学術研究、専門・技術サービス業		1,436	0.4	1,532	0.4
宿 泊 業		7,516	2.1	7,367	2.0
飲 食 業		5,230	1.4	5,290	1.4
生活関連サービス業、娯楽業		6,146	1.7	6,073	1.6
教育・学習支援業		1,183	0.3	1,097	0.3
医 療 ・ 福 祉		10,453	2.9	10,884	3.0
その他のサービス		9,021	2.5	8,310	2.3
地 方 公 共 団 体		58,025	16.3	58,476	16.2
個 人		96,782	27.3	100,686	28.0
合 計		353,920	100.0	358,755	100.0
用途別	設備資金	160,474	45.3	163,859	45.6
	運転資金	193,445	54.6	194,895	54.3

(注) 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位:百万円)

		令和3年度	令和4年度
破産更生債権及びこれらに準ずる債権		1,249	1,531
危険債権		19,835	21,286
要管理債権		398	470
	三月以上延滞債権	13	-
	貸出条件緩和債権	384	470
小計 (A)		21,483	23,288
保全額 (B)		18,266	19,890
	個別貸倒引当金 (C)	3,557	3,596
	一般貸倒引当金 (D)	52	54
	担保・保証等 (E)	14,656	16,238
保全率 (B)／(A) (%)		85.02%	85.40%
引当率 ((C)+(D))／((A)-(E)) (%)		52.87%	51.79%
正常債権 (F)		335,256	338,239
総与信残高 (A)+(F)		356,739	361,528

その他

職員の状況

	令和4年3月末	令和5年3月末
職員総数	568人	540人
うち男子職員	359人	338人
うち女子職員	209人	202人
平均年齢	39歳11カ月	40歳4カ月
平均勤続年数	17年0カ月	17年5カ月

常勤役職員1人当たり預金・貸出金残高

(単位:百万円)

	令和4年3月末	令和5年3月末
預金残高	1,503	1,587
貸出金残高	613	653

1店舗当たり預金・貸出金残高

(単位:百万円)

	令和4年3月末	令和5年3月末
預金残高	22,831	22,939
貸出金残高	9,313	9,440

現金自動機器設置台数

ATM＝現金自動預入支払機 (単位:台)

		令和4年3月末	令和5年3月末
ATM台数	店舗内	77	76
	店舗外	21	21

(注) 店舗外台数には、当金庫が幹事でない共同設置は含みません。

記載金額・構成比・諸比率は単位未満を切り捨てて表示しております。

◎第100期通常総代会の招集並びに提出議案について

1. 第100期通常総代会招集の件

日 時 令和4年6月21日(火) 午後2時
場 所 当金庫本店2階大会議室

2. 第100期通常総代会の提出議案の件

○会議の目的事項

報告事項

第100期(令和3年4月1日～令和4年3月31日)業務報告、貸借対照表及び損益計算書の
内容報告ならびに監事及び会計監査人の監査結果報告の件

決議事項

- 第1号議案 剰余金処分案承認の件
- 第2号議案 会員の除名承認の件
- 第3号議案 総代候補者選考委員補充の件
- 第4号議案 理事及び監事選任の件
- 第5号議案 退任役員に対する退職慰労金贈呈の件

◎業務報告(令和4年度通期)

- 4月1日 長野しんきん「しんみせ」応援プロジェクト「しんみせチャレンジ2022」の募集開始
(～5月10日)応募者22名
- 4月1日 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業者さま向け「リモート万相談会」の実施
(隔週金曜日開催、～3月24日 合計24回) 相談実績42件
- 4月21日 令和3年度補正「事業再構築補助金」活用セミナーの開催 参加者51名
- 5月11日 「第19回長野しんきんビジネスフェア2022」開催 出展162社・団体 来場者1,500名
- 5月17日・18日・19日 しんきん商談ステーションオンライン商談会3Daysの開催 商談実績99件
- 5月24日 持続化補助金活用オンラインセミナーの開催 参加者42名
- 6月15日 「第20回長野しんきんビジネスフェア2023」ポスターデザインコンテスト募集開始
(～9月30日) (応募総数43名、48作品)
- 6月18日 長野しんきん「しんみせ」応援プロジェクト「創業カレッジ」開講(～10月12日)
(須坂市、千曲市、小布施町、高山村、山ノ内町、飯綱町の特定創業支援等事業に認定)
延べ参加者307名
- 6月23日 「ものづくり補助金」活用オンラインセミナーの開催 参加者41名
- 8月25日 人材採用オンラインセミナーの開催 参加者54名
- 9月6日 長野県長野工業高等学校生徒向け「金融リテラシー講座」第1回の開催(全4回)
受講者数2年生240名 第2回 9月13日、第3回 10月4日、第4回 10月18日
- 9月27日 ニューリーダーゼミナールの開催(～3月22日、全6回)受講者27名
- 9月28日 広告戦略セミナーの開催 参加者43名
- 10月5日 SNS活用戦略セミナーの開催 参加者48名
- 11月14日 Instagram実践オンラインセミナーの開催 参加者132名
- 11月16日 清泉女学院大学看護学部1年生70名を対象とした「金融リテラシー講座」の開催
- 11月18日 「第20回長野しんきんビジネスフェア2023」ポスターデザインコンテスト表彰式の開催
(グランプリ1名、特別賞2名)
- 11月23日 清泉女学院大学人間学部1年生90名を対象とした「金融リテラシー講座」の開催
- 12月2日 「しんみせチャレンジ2022」表彰式の開催 表彰者8名
- 12月15日 事業承継オンラインセミナーの開催 参加者80名
- 12月21日 清泉女学院短期大学1年生90名を対象とした「金融リテラシー講座」の開催
- 1月23日 須坂支店建替えのため、太子町支店の店舗内店舗として営業開始
- 1月24日 令和4年度第2次補正予算中小企業支援策等活用オンラインセミナーの開催 参加者60名
- 2月14日・15日・16日 しんきん商談ステーション冬のオンライン商談会3Daysの開催 商談実績101件
- 2月21日 インボイス制度オンラインセミナー&相談会の開催 参加者96名
- 3月7日 カーボンニュートラルオンラインセミナーの開催 参加者23名

総代氏名

令和5年5月31日現在

区	総代定数	総 代 氏 名					
1	3	青山 益司	齋藤 安彦	鈴木 昇			
2	4	塚田まゆり	松本 重好	宮島 章郎	山口 信秋		
3	6	石黒ちとせ 日南田哲三	柄沢 洋一 山崎 桂一	倉澤 慶一	中澤 新治		
4	2	藤森 将一	増田久仁彦				
5	6	鬼頭久仁彦 宮澤 隆	清水 省吾 茂木 正久	竹澤 環江	松井 光男		
6	4	青木 幸彦	岩崎 篤二	坂田 守夫	中村知枝子		
7	4	鎌倉 利光	小林 裕生	千野 義幸	村山 博美		
8	5	石田 延章 水島 康明	大田 敬一	長澤 一喜	古旗 文夫		
9	9	岡 健一郎 半藤 繁秋 横田 一尊	岡澤 洋文 宮下 知子	杉田 敏幸 山岸 章	関 今朝弘 山下 重三		
10	8	岩野 仁 山口 英男	神田 幸徳 山崎 政子	堀内 敏男 山田 善久	宮野尾 宏 和田 俊明		
11	2	武井 廣助	宮澤 重徳				
12	6	太田 千尋 福島 修一	小林 昭夫 横山 英雄	小山 忠房	新開 英二		
13	4	石田 治	伊藤 善宣	西宮登喜男	宮澤 度		
14	7	大岡 敏久 西澤 章	金井 浩 宮入賢一郎	小林 正直 宮岡 伸子	中村 健		
15	5	香山 篤美 山岸 信夫	酒井 敬二	牧野 義明	村井 教郎		
16	9	新井 精一 窪田 英一 渡邊 英祐	大日方 尚 田中 實	小山田雄治 平山 和成	笠井 昭男 宮下 満栄		
17	6	飯島 孝一 南澤 文明	石井 英嗣 峯村 宗次	齋藤 清	滝沢 秀治		
18	3	飯島 優子	海野 政也	藤原 正治			
19	8	鮎澤 直樹 宮川 光男	瀬在 順一 宮原 誠	竹森 松雄 矢島 敬士	中村 直行 山崎 武明		
20	10	岩崎 雄一 中澤 啓明 山岸 由子	金井 辰巳 広田 悦治	小林亀三郎 藤沢 一彦	永井 和男 丸山 剛		
21	4	荒木 智子	市村 次夫	島田 正信	竹村 利器		
22	5	市川 博信 望月 誠一	小林 博文	中條 和彦	橋本 和男		
23	3	小林 謙一	西山平四郎	羽田 吉彦			
24	7	内山 光弘 土倉 武幸	春日 孝之 中村 智雄	小林 直樹 米澤 竹嗣	下原 章義		
25	4	阿部 弘喜	伊東 博幸	藤巻 篤	丸山 茂		
		計133名					

(注) 総代氏名の表示は五十音順、敬称略です。

選任区域についてはもよりの本支店窓口へおたずね下さい。

店 舗 一 覧

長 野 市	(本 部)	居町133-1	(026)228-0221
	本店営業部	居町133-1	(026)225-0225
	石 堂 支 店	北石堂町1405-1	(026)226-6131
	伊 勢 宮 支 店	差出南2丁目1-29	(026)227-1125
	川 中 島 支 店	川中島町御厨927-1	(026)284-7561
	川中島駅前支店	川中島町上氷鉋1412-1	(026)286-3021
	更 北 支 店	青木島町青木島乙146-1	(026)285-3125
	権 堂 支 店	権堂町2201-23	(026)233-1155
	桜 枝 町 支 店	桜枝町822-1	(026)234-1531
	篠ノ井支店	篠ノ井布施高田72-2	(026)292-1085
	城 北 支 店	上松4丁目7-10	(026)241-4248
	川 柳 支 店	篠ノ井二ツ柳1947	(026)292-3755
	善光寺下支店	三輪6丁目17-12	(026)234-2145
	大門町支店	大門町542-1	(026)234-3225
	豊 野 支 店	豊野町豊野608-1	(026)257-3121
	長 池 支 店	南長池581-1	(026)244-2150
	七 瀬 支 店	七瀬南部575-1	(026)226-0360
	東長野支店	北尾張部750-1	(026)244-7751
	古 里 支 店	富竹687-5	(026)296-7951
	松 代 支 店	松代町松代581-3	(026)278-2421
	大豆島支店	大豆島939-5	(026)221-8881
	南 支 店	稲葉上千田294-3	(026)226-6402
	柳 原 支 店	柳原2090-12	(026)243-6678
	吉 田 支 店	吉田3丁目16-41	(026)241-1561
	若 槻 支 店	稲田1丁目30-18	(026)241-1125
	若 穂 支 店	若穂綿内8511-1	(026)282-5381
須 坂 市	須 坂 支 店	(仮店舗) 太子町885-4	(026)245-1110
	墨 坂 支 店	墨坂南3丁目7-19	(026)246-0511
	太子町支店	太子町885-4	(026)248-7521
中 野 市	中 野 支 店	中央1丁目6-15	(0269)22-4151
飯 山 市	飯 山 支 店	飯山259-8	(0269)62-3141
千 曲 市	稻荷山支店	稻荷山1782-86	(026)272-1264
	上山田支店	上山田温泉2丁目9-9	(026)275-0610
	戸 倉 支 店	戸倉2192-1	(026)275-3300
	屋 代 支 店	粟佐1599-6	(026)272-3311
埴 科 郡	坂 城 支 店	坂城町坂城9178-6	(0268)82-7221
上高井郡	小布施支店	小布施町小布施803	(026)247-3141
下高井郡	山ノ内支店	山ノ内町平穂4123-20	(0269)33-3191
上水内郡	飯 綱 支 店	飯綱町牟礼528-5	(026)253-7525

上記以外の営業地区

長野県上田市、東御市、小諸市、佐久市（うち旧南佐久郡臼田町を除く）
北佐久郡、小県郡、下水内郡、新潟県妙高市（うち旧新井市を除く）